

中和田教会だより

年間第4の、主日の福音

マルコー
28
5
28

主任司祭 宮下神父

これはどうしたことか、この人が權威をもつて命令すると汚れた靈も従ふ」と云ひ合つた。(此人)イエス様についての教會の教へ——人間として地上に現われたイエス様の才了がたは天に於て御父と聖靈と共に生き給ふ御子のペルソナの実際の力すがたであつた。

人間の近寄ることの出来ない神様が人間の体をとるなどによつて私たちは人間に即自分の神性を与へ名実共に神の子とするためであつた。そして人祖のよだに神に似た者となりせるに至りであつた。

權威ある教へについての解釈として聖ヨハネ使徒は「私が話して居る言葉は自分で語しているのではない。私にぶりでになる父が、そのみわざを行つて下さる所以である。私を信じなさい。私は父に属り父は私においでになる。せめてこれを私のやさ可讀(よづけ)し得(うづく)」と云ふイ

エスス様のみこぼをヨハネ四章に
書いて居ります。聖オーガヌスは
信じなさい。さうすればわがります
と教へられました。 以上

ヨハンナ 塙川美穂子 四津町
バルナバ 山中 均 (洗礼上智大学聖堂)
和泉町

水谷しのぶ
二橋田兼路

委員長 東原秀吉 教日前郵便事情から可成り遅れて配達された年賀状の中に知りないう遠隔の地に転勤された又は信者の方からの一通がありました。そのが原因状の片隅に「知らない教會に行

●一月委員會報告

一月十四日 庚寅
信徒總會之準備
二四開值

一般会計収支決算並子算上 つづき審議

一
三十回重慶行事として黙想会の実施。四月廿一日旺日に予定

婦人会より

ひ幻象されるとの確証は誰も持ち得ません。思ひやりの心毎日の生活の中で大功にしなければならぬ言葉だと思ひます。

大寒を迎えましたが、へなしか陽光の中に明るさと暖きが少しつづつ増してきました様に思えます。

中和田教会も独立して三年経て、中和田教会も独立して三年経てにゆとりのない過去でしたが、皆様方の協力によって少しづつ基礎盤も固ってきて、る様に思うのは自分の独りよがりの様でどうか。小さくともせめて中和田教会を訪ねて下さる方が淋しい思い丈はされない様な心安らぐ教会を目指してゆきたいと思ひます。

四月会より

本
筋
腸
信
行

一九七七年夏、高校黙想会が二月二十日から三月三日まで聖テレジア黙想の家で栄光のアルカラ神父様指導のもとで行なわれました。参加者は中和田、ニ保川、山手、三笠から一人づつと逗子二人の計六人で「一年間の反省」モテーラとして神父様の講話、ディスカッションを基にして黙想を進めたのですがその途中で「ミサにつけて」という

神父様の講説から御ミサについて
みんなで考る直すことになりまし
た。そして私達高校生一派の傾向
にがっかりしてしまいました。
されば僕達は御ミサは最後の晩さ
人の繰り返しと知つて、まるか御ミサの
既意識して、ないと言つて、す
すばめり晩さんと云うのだから、や
すです。それもイエズス様といつても
にお話してするバーでです。なん
てありがたくして樂しいバーで
いとう。それなりに暗記している言
葉を言うだけではイエズス様の教
にならうことはなんと悲しいこと
でしょ。そこで神父様に僕達の
考え方をミサをたどりたいときもし
た。そしてその時ほど言葉の一言
一言を考えて、またイエズス様を近
くに感じたことはありませんでした
御ミサがつまらないと思つ人が
いたり、このことを思い出しても下さい
三十一日の去年最後の御ミサの聖
変化の瞬間を見ながら、これが
かういええ様がこられるのだと初
聖体の時のようにならうきいてい
ます。
ミサはほんとにすばらしいもので
した。

・婦人会より
新年がめでとうござります
暖冬だと言ゆれておりましたのに、前日に思いがけなく雪が降り朝になつても、まだあたり一面まつ白じ雪が朝日に輝く(一月十四日)の九時三十分、聖堂で昭和五十四年度の婦人会の総会と新年会が行われました。
神父様より「新しいおきてであります」と、互いに愛する」とをまず家庭の教訓として実行するように今年も仲良くがんばつて下下さい」との話がぶり新役員の紹介が左記のようにありました。

典 顧会書副会
長 計問記

マリアドロレス阿部映子
マリアテレサ田中和子
マルタ七浦昭子
マリアアンナ佐々木靖子
マリアテレサ山中嘉子
ピエラジニア石川雅子
マリア川原葉子

新田役員の挨拶があり会長より次の話がありました。
新田役員は二月中に間に合せ
る様に只今準備中です。今年は婦人会の連絡網と下掃除
の連絡の順番を同じにして、同じ手で連絡網と下掃除当番に
ついて班や順番の変更があり、下う決まり次第、各下掃除の責
任者は一月中に副会長までお知らせ下さい。年会では五十三年度の事業報
告と会計報告がされ承認されました。尚、前年度の残高は新年度の会
則の印刷代にあてる予定です。新年会では十一時の印ミサを終
えられた神父様をはじめ、各ナルごとに珍御三家や即席女声

コースガループがでまかり、民謡合唱、齊唱が続出。和氣あいの
う方に最後に聖歌を全員で歌って
散会になりました。

今年も会員の皆様が新しく共に
その力を出し合って、もう筋力
し、樂しくよりよき活動が行われます
うとうとよくお願ひ申し上
げます。

書記 中田

お 礼

新しい年を迎えて要理学校
も始業式新年会と今年もスタートしました。ズマスには父兄の方々より、たくま
んの薔薇花束と差し、カーネーションの花束を頂きましてリーダー一同
心から感謝一杯です。ナランの祈りにささえわれて、けとばーを正しく伝える福音
の証人として司祭と一緒にして今
年も一生涯命がんばりたいと思
つて居ります。又文具の方々には何かとお手
伝を下願いたして居りますが、
心よく御協力下さい。

てあります。
今年も又どうぞよろしくお
願いいたします。要理学校
リーダー一同。

中和田教会だより

人々を罪から救ふ爲に

卷之三

の晩さんの時エス様

御聖体の祝聖の御言葉の中に御自分の死の意味をお示しになりました。即ちバーンを取つてこれはあなたたちの罪のために渡される私の体である。又杯を取つてこれは多くの人々の罪の救られるために流される私の血による新しい契約である」と。

旧約時代にエチヤ人は牛を殺して体と血を分け、体は外の石の祭壇の上で焼きつくし、血は半分を神殿の祭壇にうちをさし、あとの半分を民衆にふりかけて罪の赦しを神様にお願い致しました。

神様があざめになつた新約の儀式であるイエス様の死は神キリストがユダヤ人を道長として人間キリストを神様に捧げた神的行為であります。共に十字架にかけられた大罪人

すばらしい扶助者の聖母像の
一信者の御厚意により、すばら
い聖母像の御寄付がありまし
た。尚二月十八日(日)に祝別が行
われました。

婦人会だより

昨年発足したこの制度の再検討

と云うことで話し合ひやほり何行事を行なうしても組織があつた方が便利といふことで存続となり、もう一度地已別の再検査認のため、表を教会に掲示し之に各員記入する事になりましたので

昭和五十四年二月二十四日
戸塚区中町 = 七〇一

中和田教會 底報委員發行

五十三年度会計報告(甲)斐賛務
委員) 決算書参照
一粒会報(小野寺一粒会委員) 一粒会報
便函敘述の一粒会の活動状況及
び中和田教會の五十三度の獻金

の一人はユダヤ人と共にイエス様を
バカにしましたが、もー人の大罪人は
自分達は悪を行つたむくいと一て
今苦しんで居るが此の方(イエス)は
何も悪いことはして居ないと主イエス
様を弁護し、イエス様に向つてあ
ざなが神の權威をもつて来られる時
私を心へ出して下さりとお願ひする
とイエス様は即座にあなたは今日
私と一緒に樂園に居るでーようと
救いを約束されました。

信徒総会報告
去る一月三十八日午時ミサの後出席
者三十七名の出席のもとに開かれ議
長に角井氏(北)書記に、安達氏(北)
の選出とともに議事に入り昨年度
の活動報告と本年度の運営方針
が決定されました。

四月節默想会
四月一日(日)指導司祭イエス会神父
穢をお招され時ミサより説教と
指導がありヨリ
当月は十一時のミサすありません。

二月二十八日の「火の水旺」日から四
旬節に入りますが、この一ヶ月は年
と同じく国内外の社会福祉に重きを
をおき在宅へ身障者、老人の
ほか未法人、無効可、個人の施設の
ために援助を目的とした愛の運動
を実施致します。多くの方々の
協力をしてまいります。

尚新入会員と未だ名簿に記載され
てない方々は次の通りです。ご着手
の名簿にお書き入れ下さい。

マリア・ジニア 田中和子 波沢町六四八一
TELハ六一三〇五

マリア・シタ 高橋ヒロ子 上飯田三六七。
いとう山地七一〇四
TELハ一一四三三一六

マリア・アナスタシア
井上智恵子 中田町二五七一
TELハ一〇四一〇六八二

転入
集^{シテ}て活潑^{ハツボク}が脚^{カツ}意見^{イニシアチブ}を伺^{ヒヤウ}へ樂^{ハラハラ}いよ
集^{シテ}て近^カく四句^{シキ}節^{セツ}に入^リます
皆^{みな}賛^ス助^スけ合^ハって大^{おほ}いにけむ^ミとか
業^{アサ}ますよ^トうに大^{おほ}き祈^{モリ}致^スますよ^トう。

二月二十八日(水)灰の水旺日です
灰の祝別式とミサ聖祭を午前
七時半より行います
三月二日(金)初金旺日
午前十時丁字架の道行とミサ
聖祭が行ひます
四旬節中は毎週金旺日午後七
時半より十字架の道行を行ひま
す。

昭和54年度 収支予算

収入	支出
月定獻金 1,800,000	祭儀行事費 314,000
之サ 献金 700,000	維持費 270,000
バザー収益 400,000	人件費 2040,000
補助金 600,000	大災保険料 48,000
前期繰越金 453,185	福利厚生費 99,000
合計 3,953,185	通信事業費 90,000
	宣教費 303,500
	備品費 80,000
	退職積立金 80,000
	修繕積立金 100,000
	本部獻金 300,000
	班費 42,000
	平偏費 126,685
	合計 3,953,185

昭和53年度 婦人会会計決算報告

収入	支出
53年度会員費 21,700	行事費 20,475
利息 455	慶弔費 13,425
前期繰越金 48,832	印刷代 4,000
合計 120,987	例会茶菓子代 7,736
	事務費 330
	班費 7859
	合計 54,125
	次期繰越金 66,262
特別会計 収入	
ワカキ売上金 20,060	
バザー残金 4550	
利息 40	
前期繰越金 12,249	引き継ぎが下りましたので二月に報告します。
合計 37,549	

昭和53年度 決算報告

収入	支出	収入
月定獻金 1,781,500	祭儀行事費 241,391	建設設備資金 (1,929,260)
之サ 献金 699,845	維持費 265,340	戸塚教会 1064,480
特別収益 209,500	人件費 1795,000	中和田教会 919,300
バザー収益 569,051	大災保険料 96,000	厚宿教会 65,480
補助金 600,000	福利厚生費 120,688	受取利息 (464,482)
前期繰越金 7,738	通信事業費 83,428	信託預金 456,779
合計 312,942	宣教費 203,592	普通預金 7,703
	修繕費 134,169	
	備品費 69,200	特別献金 130,000
	工事費 175,200	前期繰越金 7,272,894
	退職積立金 72,000	合計 7,856,736
	修繕積立金 100,000	
	本部獻金 289,000	
	班費 11,945	
	手偏費 3,925,391	
	合計 次期繰越金 453,185	

建設借入金返済計画

年度 摘要 (収入)	(単位千円)			
	54	55	56	計
建設設備資金 2000	2000	983	1983	
前期繰越金 5,702	4,377	5,182	5,702	
計 7,702	6,377	6,165	10,685	

(支出)	借入金返済 1,000	1,000	6,000	8,000 (合計10,000)
借入支払利息 225	115	165	585	
教會債償還 2100			2100	
計 3,325	1,195	6,165	10,685	
差引残高 4377	5,182	0		

収支報告
(53.1.1~53.12.31)

(収入)	愛の献立 153,931
特別献立 16,317	
受取利息 610	
前期繰越金 31,772	
計 282,630	
(支出)	
児童福祉 30,000	
四旬節費 90,000	
広報費 20,000	
聖ペトロ 30,000	
報紙費 20,000	
布教費 35,000	
那人材費 20,000	
総額金 37,630	
計 282,630	

中和田教会だより

昭和五十四年三月二十四日

転入者 紹介

神の愛の啓示

主任司祭

宮下神父

エーテア衆議会員の一人で当時

人々から尊されて居たニコデモと云う人が夜イエズスのところにて「光生、私共はあなたが神のもとから来られた教師であることを知つて居ります。神がともにゐられるのでなければ神の國に入ることは出来ない」と誰も行ふことは出来ないからです」と申上げると、イエズスは「コドモの心をみてすぐに神の神殿を示さなければ神の國に入ることは出来ない」と申されました。即ち人は新たに生めなければ命に生まれなければ神の國に入るといふことでした。(2)此の新たな生命は花礼によつて人々に与へられるに受け取らためである」と

十一時のミサはありますせん。荀子の「萬物と持寄りハイティ」が云います。

婦人会 だより

梅のたよりもちらほり聞かれる頃となりました。皆様方を以ておかれ家庭によかれますとも、又教會にあがれましても、また御復活祭を迎えるために、少い犠牲を毎日ナシフツおさげ下さいことに励むのことを行じます。

(二)四月十四日(土)午前十時より例年通り十時の御復活祭には、寺寄りハイティーを催しますので、どうぞ腕をふるつてお一人づつお持ち寄り下さい。

(三)地区別婦人が決りました。御教會に掲示してありますので御確認下さい。地区係は左記願ひ致します。

(三)地区別婦人が決りました。御教會に掲示してありますので御確認下さい。地区係は左記

オ32号 戸塚区中田町三七。一 中和田教会伝報委員發行

アンニエラ 中町 林美代
ヨハネ レディア カトリ
深谷町一ニ五
トリムハイツ三一ニ二

委員会報告

三月二日(金)開催次の事項につけて話合いを行う。

(一)バザーの件

バザー準備予定表の検討

(二)黙想会について

(三)小林興化委員 駒井に伴つ彼の

四月一日(日)

黙想会(共同告解)

指導司祭イエズス会 レディス神父様	ミミサ 九時から ミサ後 説教と共同告解	金曜 参加ご希望されます
----------------------	----------------------------	--------------

聖週間にについて

四月十二日(木)主の晩餐
四月十三日(金)主の受難(大布小布)
四月十四日(土)復活徹夜祭

ミミサは夜七時三十分より行かれます。

復活祭のミサは午前十時まで

和田中瀬 潟場地
下飯田・和泉
いきうち園地・上飯田・瀧谷
トリム波泥塗谷
上野
高相談会
上野相談会
上野相談会

(四)ハサトについての話、合ては昨年の反対も含めて活潑な意見がたくさん出ました。
(五)会員のマルタ・林知代様が四月に新小島へ転出されます
(六)マリヤ・穂田恵美子様の住所
氏名を各自の名簿に御記入
丁寧
トキ
トモ
トモ
(七)中町秋葉代様も転入され、三月より新会員となりました
ので左記の住所の方も併せて
御記入下さい
住新 深谷町一ニ五
トリムハイツ三一ニ二
トモ(ハ五ニルハれ)
トモ(ハ五ニルハれ)
トモ(ハ五ニルハれ)

(八)婦人会で洋裁や手芸の材料をまとめて用意され、三種の裏面を奉仕日を決めて手分けして作成することになりました
ハサトについて何よりアニアがやりました
として役員までお申し出下さい。

四旬節 愛の運動に

温かい協力を

中和田教会だより

復活の信仰 主任司祭

主任言祭

宮下神父

超自然的に復活されたイエス様が弟子達の前に現われた時弟子達は喜びのあまりすぐに信ずることが出来ず、或る者は幽霊ではないかと思ふ、或る者は半信半疑でした。イエス様は愛情をこめて皆を信仰に導きます。すべての人を罪と地獄から救ふ為に死の苦しみをして跡の両手の傷あと脇腹のきずあとを見せて下さいました。そして生きているとして、ここに何が食べるものがあるかと云われ、弟子が焼魚を差出するとみんなの前で食べてみせて下さいました。

疑い深トマスに不信仰な態度をとらないで信じる者になりなさいと云われるとトマスは私の、主よ私の神よと答へて主のみ前にひざまずきました。信することは神様の大いなる恵みによるものであります

中和田教会 バザー

1979年5月27日 (日)
ところ
カトリック中和田教会
じかん
AM10:30~PM1:30

バザー抽選券
寄付金 1枚100円
抽選券券同日 PM 1:00

賞品

- 1等 カメラ(ホリ)バスEE-3 1本
 2等 電気スタンド(デジタル付) 2本
 3等 銀タバコ(大倉園園製) 3本
 4等 ポケットライト 8本
 5等 ミニ・ランプ-10W 300本

バザー券の発売をしております
よろしく、ご協力 おねがい致します
吉原

カトリック中和田教会

信仰の恵のうちに生きる、
とが出来るようになく口ザリオア
誦へましょう。天に居られるマリ
ア様は今でも私達のために働い
て居られます
イエス様の御復活のことと想
ながうロザリオを誦へることはマ
リア様と共に復活の神祇となが
めて居ることと同じことです。マリ
ア様は私達の為に信仰と情りの
恵をイエス様によつて与へて下
さいます。此の世の生命が終つて
生ズ様の前に出る時まで、いつ
もマリア様と一緒に居る者は、
ほんとに幸な人です。

世界平和祈禱の日 どうぞお祈り下さい	五月六日(日)	ヨゼフ マリア マルセリーノ アグネス テレジア	田中龍門 七浦麻里 宮崎親人 磯田慈子 大原正恵	武田順子
-----------------------	---------	--------------------------------------	--------------------------------------	------

左記の子供達が初聖体です。

四月節 妻の運動で皆様のご協力によりまして総額九六三円献金があり
オードニ妻の献金と併せて十万円をカリ
タスジヤパンに送金致します。

婦人会だより

皆様の御協力により御復活祭
も無事に終わることが出来ました
ありがとうございました。

ハサーカ開催日もあと一ヶ月にせ
まつて参りました。件函(手作り)校
料の御寄付 不用品等が今年はまだ
少ないようですがどうぞどうぞ
御協力をお願い申し上げます。

食券を三月一日より発売いたします

す ちらし = 五〇円

カレー = 〇〇円

ホットドッグ = 一〇〇円

尚、今月の婦人会例会は三月一日(日)
でございます。一人でも多くの方が
御出席下さいますようお待ちお
ります。

54年度新役員の紹介

書副会記長
テレジア甲斐知恵美
ヨゼフ角井淳一
ヨハン・マリ・モーリス

副会長
書記
ヨゼフ・角井淳一
甲斐知恵美
ヨハンナ・塙川美穂子
テレジア・ヨゼフ
会計
ペトロ・ハニセ
森満子
マリヤ・ハニセ
久松勝恒明
久松恒明
尚願同はエリザベト・ハニセ
アントン・ハニセ
アントン・ハニセ

（イ）イヌケンの使命を果すために集まる
（二）会員の目的
・高橋先生の仲間同士集って自由に近づく
（三）運動活動＝健徳職

これは講話の時の僕のメモなので此
かりにくく」というものもあると思ひますが、
最後にこれを聞いた僕の感想を述べると
字連は友達と集つたり、とても樂しい
ところだけれど、それで終めうず。との目的
は集つたことにより学校生活・社会生活
へと皆が散つた所との行いのためにある
ことを知り教区大会や教会ことの例会
により、イエス様からの使命を果たす
ことができやすくなるために皆で協力一
心ゆく感じました。

かく生きるための考える場

△・生活の見直し

△・聖書研究

```

graph TD
    A[かく生きるための考える場] --> B["△・生活の見直し"]
    A --> C["△・聖書研究"]
    C --> D["高校時代→信仰に対する不満(子どもの信仰から脱皮)"]
    D --> E["△・話し合う"]
    D --> F["△・大人の信仰になるために"]
    E --> G["△・学連員として→キリスト者として"]
    F --> H["△・やうつとする気持ちをみる"]
    F --> I["△・高學生としてやうなければいけないことを考る"]
    I --> J["(祈りと呼ぶ)"]
  
```

と文庫教會のアミジラシスコ渡辺通
敏さんです。又新しく教會に来られる
ようになつた中高生は信者未信者問
わず会長まで申し出て下さい。

(1) 何を期待して教匠大会に参加したか
結果① 反対を作りたい

(2) 学連の目的は何だと思うか

結果の他人の意見を聞き書き綴げる

(3) キリスト教の勉強をしてい

③ 交流の場

② 聖書研究の場

① 集まるところがオートマチック

しかし眞の学連の目的は分散のために
集まる(学連活動レッスン)と共に

したがて喜の学連とは
イエズス様の使命→洗礼→私達の使命
との使命にあづかる天口への回教番兵傳説の
です。